

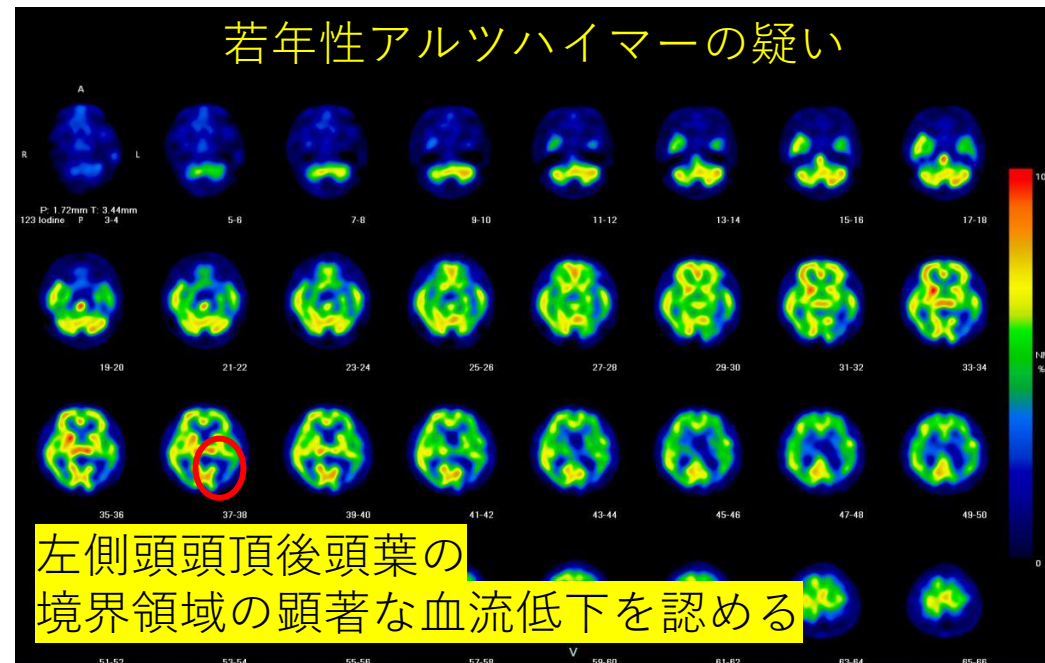
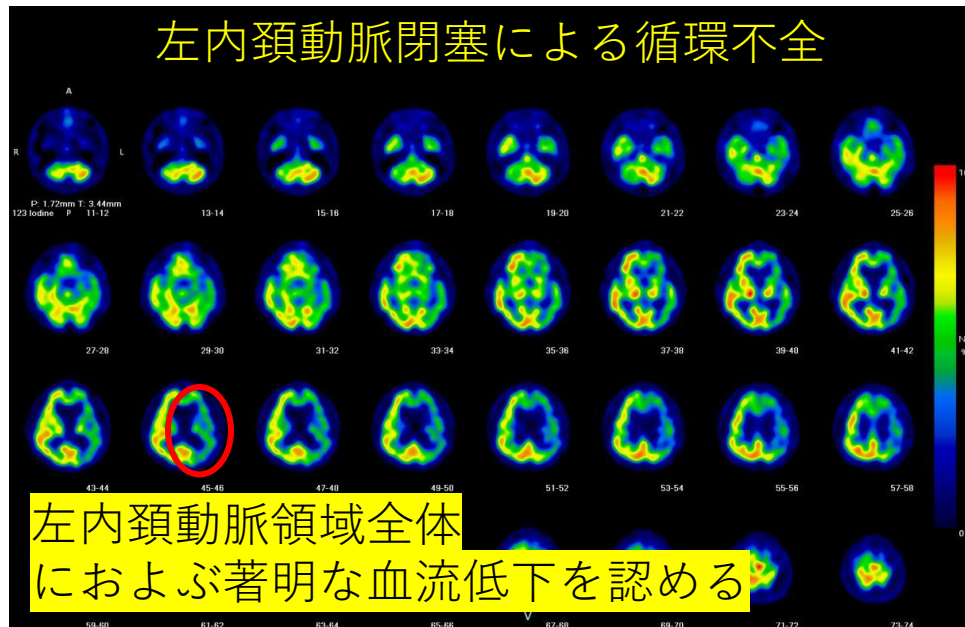
Canon社製 SPECT装置

装置の特徴：GCA9300R(3検出器型SPECT装置)は、検出器を120° 回転させるだけで360° 分のデータを収集できるため、同じ検査時間でノイズの少ない高画質な画像が得られます。また均一性が良く、歪みやアーチファクトの少ない画質を提供します。3検出器型SPECT装置は、より高品質な画像を短時間で取得できる点で優れています。



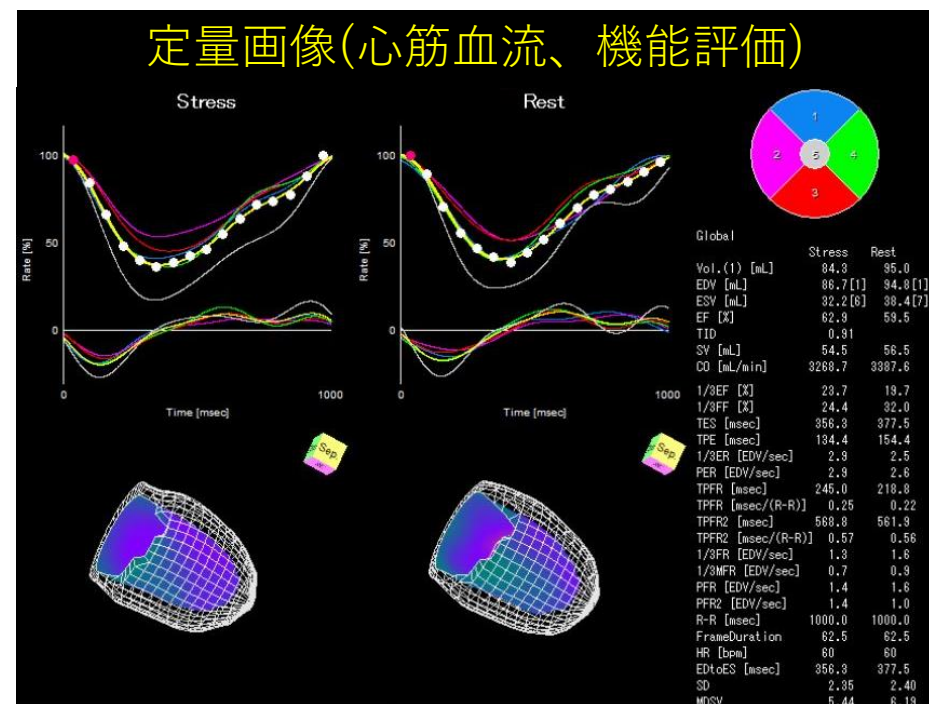
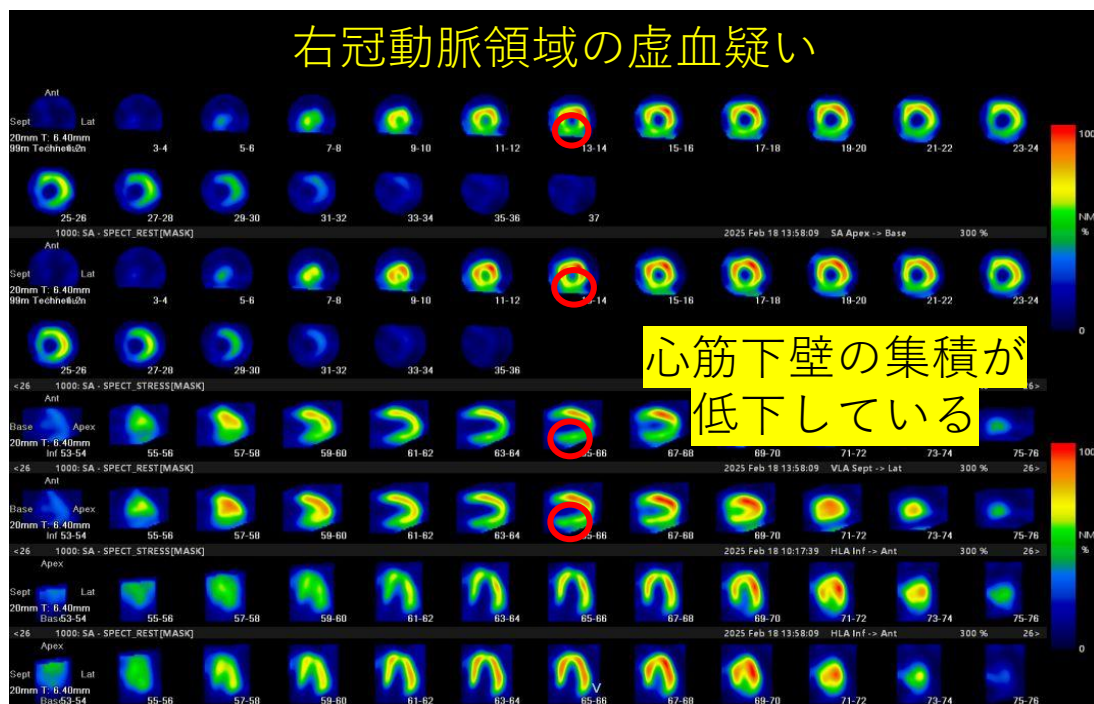
・脳血流シンチグラフィ

脳血流シンチグラフィ検査は、脳の血流状態を調べるための検査です。この検査では、放射性医薬品を静脈注射し、その薬剤が脳に集まる様子を専用のカメラで撮影します。検査の目的は、脳の血流を調べることで、脳梗塞や認知症などの検出に有用です。



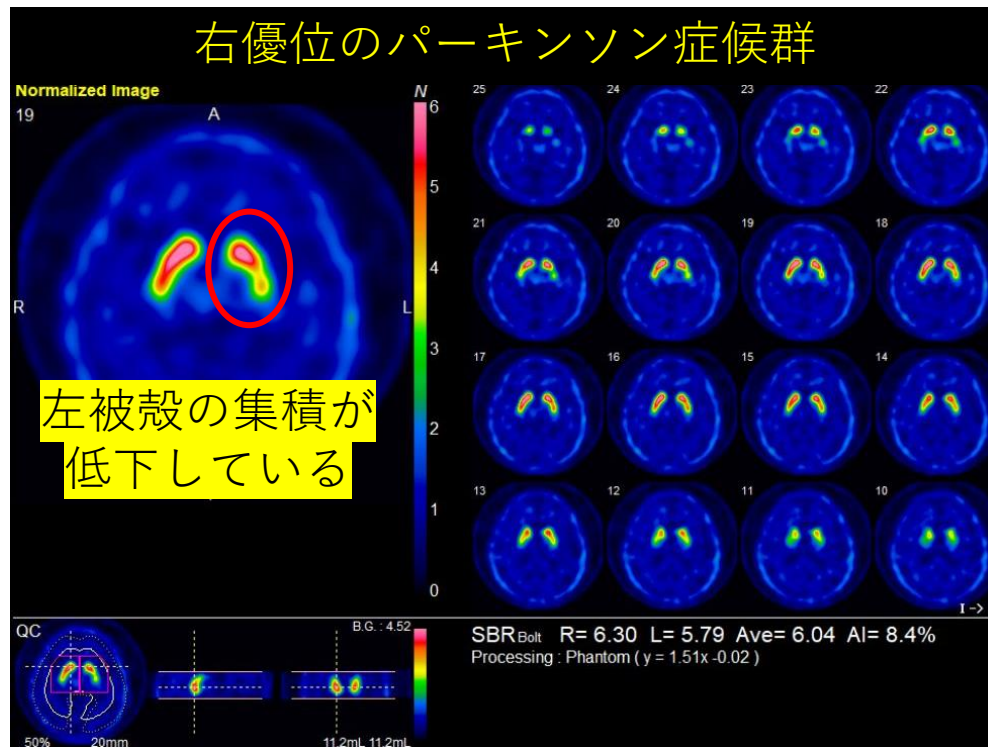
・心筋シンチグラフィ

心筋シンチグラフィ検査は、心臓の血流や機能を調べるための検査です。この検査は放射性医薬品を静脈注射し、その薬剤が心臓に集まる様子を専用のカメラで撮影します。検査の目的は、心臓の血流や機能を調べることで、狭心症や心筋梗塞などの検出に有用です。



- ・ドパミンシンチグラフィ

ドパミンシンチグラフィ検査は、脳内のドパミン神経細胞の状態を調べるための検査です。この検査では、放射性医薬品を静脈注射し、その薬剤が脳の特定の部位に集まる様子を専用のカメラで撮影します。検査の目的は、パーキンソン病やレビー小体型認知症などの検出に有用です。



GE社製 SPECT-CT装置

装置の特徴：NM/CT 870 DR (SPECT/CT)は、低被ばくで高画質を実現している装置です。SPECT側では、検出器の感度を向上させる新しいコリメータと、コントラストを向上させるソフトウェアを組み合わせで搭載しています。これにより、スキャン時間の短縮と病変描出能の向上しています。

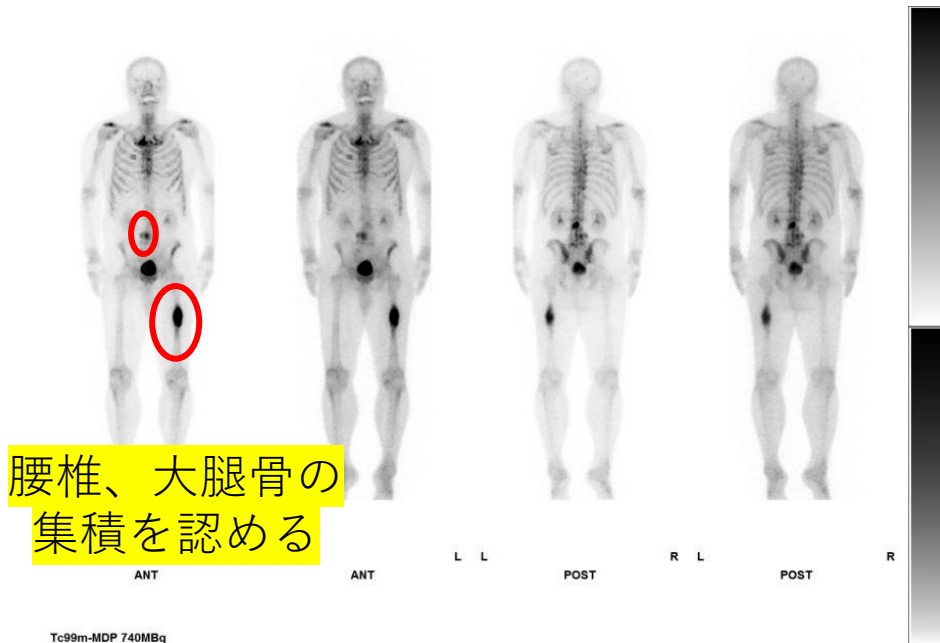
また、SPECTとCTの画像を組み合わせることで、より正確で詳細な診断が可能です。



・骨シンチグラフィ

骨シンチグラフィ検査は、骨の状態を調べるための検査です。放射性医薬品を静脈注射し、その薬剤が骨に集まる様子を専用のカメラで撮影します。検査の目的は、骨折や骨転移、骨感染症などの検出に有用です。

骨転移



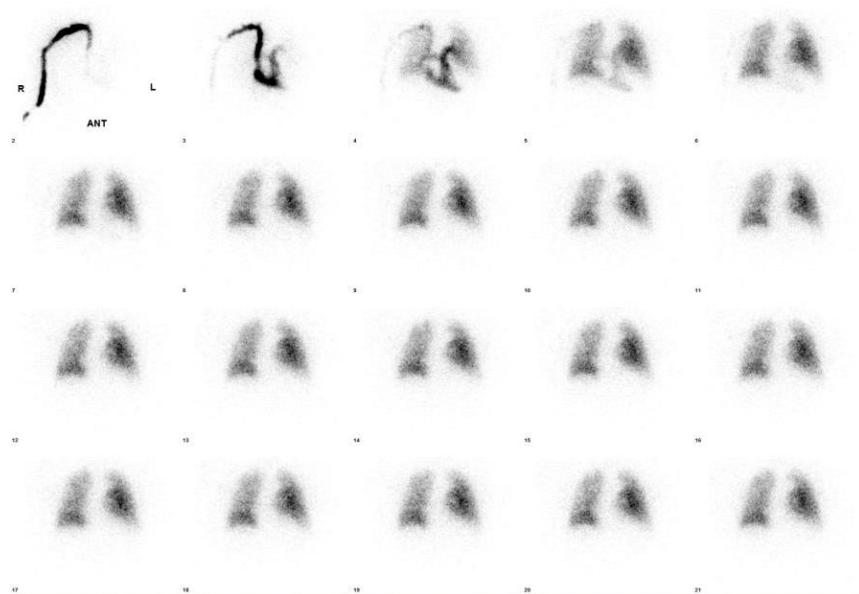
CTとのfusion画像



- ・ 肺血流シンチグラフィ

肺血流シンチグラフィ検査は、肺の血流状態を調べるための検査です。放射性医薬品を静脈注射し、その薬剤が肺に集まる様子を専用のカメラで撮影します。検査の目的は、肺血栓や肺高血圧症などの検出に有用です。

右肺塞栓症



CTとのfusion画像

